

長野市都市計画マスタープラン（構成案）

第 2 編 ・ 第 3 編

令和 8 年 4 月 23 日（木）

第 8 回長野市都市計画マスタープラン改定専門部会

長野市都市計画マスタープラン

目 次

序	はじめに
第1章	改定にあたって
1	都市計画マスタープランとは
2	改定の背景
3	計画範囲と目標年次
4	立地適正化計画とは
第2章	長野市の概要
1	位置・地勢
2	市の沿革
3	都市計画の沿革
第1編	全体構想
第1章	都市の特徴
1	都市の特徴
2	今後のまちづくりに向けて認識すべき課題
第2章	都市づくりの理念・目標
1	都市づくりの理念
2	都市づくりの目標
第3章	目指す都市構造
1	都市構造の形成方針
2	目指す都市構造
第4章	土地利用の方針
1	土地利用の基本方針
2	土地利用区分ごとの方針
第5章	分野別の方針
1	交通体系の方針
2	自然環境保全とまちなかの緑の方針
3	景観づくりの方針
4	都市防災の方針
5	経済活動等に関する方針
6	脱炭素や省エネルギーの方針

第2編 地域別構想	2
第1章 地域別構想の構成	3
1 地域区分設定の考え方	3
2 地域別構想の内容	4
第2章 地域別構想	5
1 長野駅・善光寺周辺地域	
2 芹田・安茂里地域	
3 東部地域	
4 北部地域	
5 浅川・若槻地域	
6 千曲川沿川地域	
7 川中島・更北地域	
8 篠ノ井地域	5
9 松代・若穂地域	
10 北西部中山間地域	
第3編 都市計画マスタープランの実現に向けて	12
第1章 実現化方策	13
第2章 実現化に向けた考え方	15
1 効果的な施策の展開	15
2 多様な主体により協働	16
用語の解説	

第2編

地域別構想

第1章 地域別構想の構成

第2章 地域別構想

第1章 地域別構想の構成

1 地域区分設定の考え方

地域区分については、これまでの都市計画マスタープランの地域区分も考慮しつつ、次の考えに基づき、市内を10地域に設定します。

- ・行政区分（32地区）を基本の単位とし、歴史的な地域の形成過程や経緯を考慮
- ・土地利用（区域区分（線引き））を考慮
- ・地形を考慮

■ 地域区分図



■ 地域区分表

地域区分	内訳（地区名）	地域区分	内訳（地区名）
1. 長野駅・善光寺周辺地域	第一 第二 第三	7. 篠ノ井地域	篠ノ井
	第四 第五	8. 松代・若穂地域	松代 若穂
2. 芹田・安茂里地域	芹田 安茂里	9. 若槻・浅川地域	若槻 浅川
3. 東部地域	三輪 吉田 古牧	10. 中山間地域	浅川の一部 小田切
4. 北部地域	豊野 長沼 古里		芋井 七二会 信更
5. 千曲川沿川地域	柳原 朝陽 大豆島		戸隠 鬼無里 大岡
6. 川中島・更新地域	更北 川中島		信州新町 中条

2 地域別構想の内容

地域別構想では、次の項目に沿って各地域の概要、課題・意向及び整備方針を整理します。

1 地域の概要

(1)地勢と成り立ち

- ・「位置・地形・標高等の地理的特性」「歴史的な成り立ち（合併経緯含む）」「主な地域資源」の視点から、数行（1段落）程度の文章で整理します。

(2)地域構造

- ・全体構想で示した都市構造（拠点、軸、ゾーン）における地域の位置づけを整理します。

(3)人口動態

- ・人口・世帯数の推移（人口は将来推計も含む）、年齢別3区分ごとの構成比を整理し、市全体との比較も行います。

(4)都市施設・交通

- ・全体構想に記載のある主要な都市施設、道路交通施設の配置状況を整理します。整理に際しては、施設利用者数や交通利用者数なども記載します。

2 地域の課題・意向

(1)分野別の主な課題

- ・「①土地利用」「②交通体系・経済活動」「③自然環境・緑・景観」「④防災・脱炭素」のテーマごとに、課題を箇条書きで3つ程度に整理します。

(2)住民の意向

- ・市民アンケート結果から、重要度が高く満足度が低い分野について抽出整理します。

3 地域づくりの目指す姿

(1)地域づくりの基本方針

- ・キャッチフレーズ等より具体性のある内容で地域づくりの基本方針を整理します。
- ・ここでは、地域ごとに項目立てをします。

(2)まちづくりの目標別の方向性

- ・全体構想で掲げた「都市づくりの目標」の項目に基づき、対象地域での目標を具体的箇条書きで3つ程度に整理します。

4 分野別の整備方針

- ・「(1)土地利用の方針」「(2)交通体系・経済活動の方針」「(3)自然環境・緑・景観の方針」「(4)防災・脱炭素の方針」の分野別に、整備方針を箇条書きで3つ程度に整理します。

第2章 地域別構想

8 篠ノ井地域

8-1 地域の概要

(1)地勢と成り立ち

<記載内容>

- ・位置・地形・標高等の地理的特性
- ・歴史的な成り立ち（合併経緯を含む）
- ・主な地域資源（自然資源、歴史・文化、産業等）

■ 篠ノ井地域の位置図

※10地域の区分図で篠ノ井地域を太枠で明示

※ベース図はゾーンの色分け

(2)地域構造

<記載内容>

※全体構想で示した都市構造における本地域の位置づけ

- ・拠点の位置づけ（都市拠点、地域拠点等）
- ・ゾーン区分（市街地ゾーン、田園ゾーン、森林ゾーン等）
- ・軸の位置づけ（広域連携軸、都市内連携軸等）

(3)人口動態

<記載内容>

- ・現在の人口・世帯、市全体に占める割合
- ・過去からの推移（2005年以降）、将来の推計・減少率（2045年まで）
- ・現在の年齢3区分別人口の構成比及び市全体との比較（高齢化のペース等）

■ 篠ノ井地域の人口推移

※折れ線グラフ

- ・2005年～2045年までの人口・世帯動態（過去～将来）
- ・篠ノ井地域（左軸）＋市全体（右軸）

■ 篠ノ井地域の年齢別人口割合

※横棒グラフ

- ・現在（2025年）
- ・篠ノ井地域（上）＋市全体（下）

※横棒グラフ

- ・将来（2045年）
- ・篠ノ井地域（上）＋市全体（下）

(4)都市施設・交通

<記載内容>

- ・主要な都市施設の配置（病院、大学、公園、スポーツ施設、文化施設等）
- ・交通施設（駅、主要道路等）
- ・定量データ（施設利用者数、交通利用者数等）

8-2 地域の課題・意向

(1)分野別の主な課題 ※箇条書き（各分野3項目程度）

①土地利用

- ・農業・農地に関する課題
- ・市街地の空き家・低未利用地に関する課題
- ・森林管理に関する課題

②交通体系・経済活動

- ・交通渋滞・公共交通に関する課題
- ・主要施設へのアクセス性に関する課題
- ・商業機能に関する課題

③自然環境・緑・景観

- ・農地・田園景観の保全に関する課題
- ・自然環境・生物多様性に関する課題
- ・緑のネットワークに関する課題

④防災・脱炭素

- ・災害対策（水害、土砂災害）に関する課題
- ・脱炭素（自動車依存、充電インフラ）に関する課題

(2)住民の意向

<記載内容>

- ・重要改善領域に位置する項目（具体的項目名を列举）
- ・市全体との比較における地域特性
- ・特徴的な意向（満足度が低い項目等）

■ 住民意向調査のポートフォリオ分析

※「満足度」と「重要度」の2つを横軸と縦軸に据えたマトリックス図

8-3 地域づくりの目指す姿

(1)地域づくりの方向性

<記載内容>

- ・地域の位置づけと歴史的特性 ※冒頭：100字程度
- ・3つの方向性 ※●見出し付きで各100字程度
 - 方向性1 駅周辺や拠点に関する方向性
 - 方向性2 都市構造に関する方向性
 - 方向性3 自然環境に関する方向性

(2)まちづくりの目標別の方針

※全体構想に基づく3つの目標のもとに各地域の特徴をふまえた方針を箇条書きで記載

目標1 豊かな自然と歴史文化を大切にす地域づくり

- ・自然環境の保全に関する方針
- ・農地・田園景観に関する方針
- ・主要施設（公園等）の活用に関する方針
- ・歴史的・文化的資源に関する方針

目標2 暮らしやすい生活基盤と経済活動を支える地域づくり

- ・都市機能の集積に関する方針
- ・コンパクトな市街地形成に関する方針
- ・交通（道路・公共交通）に関する方針
- ・歩行者・自転車環境に関する方針

目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり

- ・防災対策（水害・土砂災害・地震）に関する方針
- ・インフラの維持管理に関する方針
- ・脱炭素に関する方針
- ・高齢者・子育て世代への支援に関する方針

8-4 分野別の整備方針

※2の分野別の主な課題の項目との整合も図りつつ、丸番号まで含めて、全体構想の第5章（土地利用は第4章）の分野別構想とも整合する項目ごとに箇条書きで記載

(1)土地利用の方針

- ・ 駅周辺の土地利用に関する方針
- ・ コンパクトな市街地形成に関する方針
- ・ 農地の保全・活用に関する方針
- ・ 中山間地域の集落環境に関する方針

(2)交通体系・経済活動の方針

①交通体系

- ・ 公共交通に関する方針
- ・ 幹線道路の整備・渋滞対策に関する方針
- ・ 歩行者・自転車環境に関する方針

②経済活動

- ・ 駅周辺の商業活性化に関する方針
- ・ 地域資源（公園等）を活かした交流促進に関する方針
- ・ 農業振興・6次産業化に関する方針

(3)自然環境・緑・景観の方針

①自然環境の保全

- ・ 森林の保全に関する方針
- ・ 河川環境の保全に関する方針
- ・ 農地の保全に関する方針

②緑や景観の保全・育成

- ・ 緑のネットワークに関する方針
- ・ 景観の保全（眺望、田園、里山）に関する方針
- ・ 歴史的景観に関する方針

(4)防災・脱炭素の方針

①防災・減災

- ・ 水害対策に関する方針
- ・ 土砂災害対策に関する方針
- ・ 地震対策・避難環境に関する方針

②脱炭素・省エネルギー

- ・ 低炭素型都市構造に関する方針
- ・ 次世代自動車（EV等）に関する方針
- ・ 再生可能エネルギー・省エネに関する方針

■ 篠ノ井地域の整備方針図

※土地利用方針図をベースに主な整備内容を吹き出しで明示

<記載内容>

■ 都市構造の要素

- ・ 拠点（都市拠点、地域拠点、自然観光地エリア等）
- ・ 軸（広域連携軸、都市内連携軸）
- ・ ゾーン区分（市街地、田園、森林等）

■ 主要な都市施設（既存）

- ・ 基幹的な病院
- ・ 大学
- ・ 主な公園（第5章分野別方針で位置づけられているもの）
- ・ 主なスポーツ施設
- ・ 博物館・美術館

■ 整備方針（最小限）

- ・ 第5章の分野別方針で位置づけられた主要な施策
- ・ 確実性の高い事業のみを旗揚げ

※やるかどうかかわからないものは記載しない

第3編

都市計画マスタープランの 実現に向けて

第1章 実現化方策

第2章 実現化に向けた考え方

第1章 実現化方策

都市づくり施策は、以下の一覧表に示すものが考えられます。継続的な取り組みが求められる施策や、一定の事業期間で整備が完了する施策など、取り組み方法が異なることから、それらの概念を「着手」「継続」として示しています。



「着手」に該当する都市づくりの施策については、「短期」「長期」で進捗を管理していきます。前者は現在着手中のもの又はおおむね5年以内に着手する施策、後者はおおむね10年以内に着手する施策です。また、改定からおおむね10年後の都市計画マスタープランの見直しに合わせて、都市づくり施策の点検・評価を行います。

※施策リストはイメージです

■土地利用

主な施策	着手		継続
	短期 (5年)	長期 (10年)	
区域区分（いわゆる線引き）による計画的な規制・誘導	○		○
市街化調整区域の保全と活用の方針の検討		○	
.....			

■交通体系

主な施策	着手		継続
	短期 (5年)	長期 (10年)	
自転車道ネットワークの整備		○	
駅前広場等の整備		○	
.....			

■自然環境保全とまちなかの緑

主な施策	着手		継続
	短期 (5年)	長期 (10年)	
市民参加や地域住民との連携による公園や街路樹などの維持管理の推進	○		○

主な施策	着手		継続
	短期 (5年)	長期 (10年)	
中小河川、用水での開渠化などの水辺環境の保全・復元と生態系の豊かな親水空間の整備		○	○
……			

■景観づくり

主な施策	着手		継続
	短期 (5年)	長期 (10年)	
景観法に基づく景観計画と条例の見直し	○		○
景観重要建築物や景観重要樹木の指定の推進		○	○
……			

■都市防災

主な施策	着手		継続
	短期 (5年)	長期 (10年)	
洪水ハザードマップなどを活用した情報提供の推進	○		○
千曲川・犀川の堤防の整備	○		○
……			

■経済活動等

主な施策	着手		継続
	短期 (5年)	長期 (10年)	
新たな産業団地の整備	○		
まちなかの空きビル等を活用したインキュベーション事業	○		○
……			

■脱炭素や省エネルギー

主な施策	着手		継続
	短期 (5年)	長期 (10年)	
市有施設の太陽光発電システムの導入	○		○
市有施設の省エネ改修及び新規施設のZEB化	○		○
……			

第2章 実現化に向けた考え方

都市計画マスタープランで示した将来像を実現するためには、効果的な施策の展開や、多様な主体による協働が必要となるため、本章では、実現化に向けた考え方を示します。

1 効果的な施策の展開

1-1 庁内や関係機関との連携

.....

1-2 都市計画提案制度の有効活用

.....

1-3 先進技術の活用

.....

1-4 戦略的な投資

.....

2 多様な主体による協働

2-1 市民との協働によるまちづくり

.....

市民（企業、NPO等を含む）との連携事例

2-2 産学官連携によるまちづくり

.....

産官学連携事例